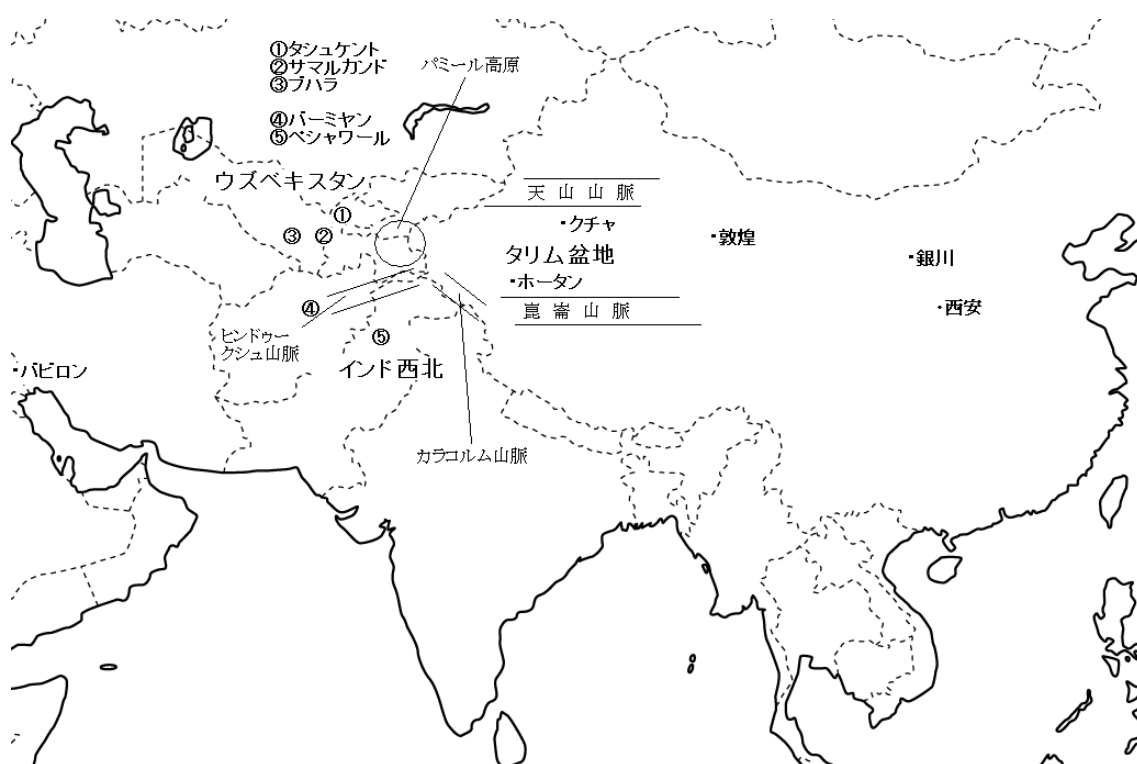


はじめに：貨幣の道・文字の道

シルクロード（絹の道）という、狭義には、タリム盆地周辺を經由して、ユーラシアの東と西を結びつける交易路を指す。この交易路にそって、貨幣自体が持ち運ばれたことはもちろんのこととして、貨幣の様式も伝播した。その意味で、シルクロードは東西の貨幣が伝播した道、すなわち“貨幣の道”でもある。また、貨幣にはふつう銘文があり、文字が書かれている。したがって、文字が運ばれた道すなわち“文字の道”でもある。

これより下の地図を参照しながら、ユーラシアを西から東に、そして東から西に貨幣の道・文字の道をたどってみる。



【主要参考文献（発行年順）】

渡邊 弘 1973. 『西域の古代貨幣』, 学習研究社。

新疆錢幣圖冊編輯委員會 1991. 『新疆錢幣』, 新疆美術攝影出版社・香港文化教育出版社。

田辺勝美編 1992. 『[平山コレクション]シルクロードのコイン』, 講談社。

アンドリュー・バーネット著/新井佑造訳 1998. 『大英博物館双書⑥古代を解き明かす コインの考古学』 學藝書林。

張忠山主編 1999. 『中国絲綢之路貨幣』, 蘭州大学出版社。

P. L. グプタ著/山崎元一他訳 2001. 『インド貨幣史 一古代から現代まで』, 刀水書房。

NHK「文明の道」プロジェクト 2003. 『NHKスペシャル文明の道 ②ヘレニズムと仏教』, 日本放送出版協会。

吉池孝一 2009. 「貨幣の道」, 『KOTONOHA』 古代文字資料館発行(愛知県立大学 E511 内)

第 79 号, 12-16 頁。

京都国立博物館編集 2009. 『シルクロード 文字を辿って—ロシア探検隊収集の文物』, 京都国立博物館。

(文責：吉池孝一 2010. 3. 16)